

## ～地域に生きる～

# すぎの子はつつ通信

平成 30 年 9 月発行



日頃、お子様の行動で、何度も言っているのに、当たり前のことなのに、なんでできないんだろう・・・と思われることはありますか？もしかすると、少しの工夫や環境設定で、できるようになることがあるかもしれません。今回は、お子様が 1 人でできた成功体験を積めるため、療育で取り組んでいることや、実際にご家庭で取り組まれている色々な工夫をご紹介します。

### ～療育での取り組み～

#### 荷物の準備

荷物の場所をイラストで示すことで、どこに何を置くのかわかりやすくなりました。置き場のひとつひとつが区切られていると準備がしやすい方もいらっしゃいます。

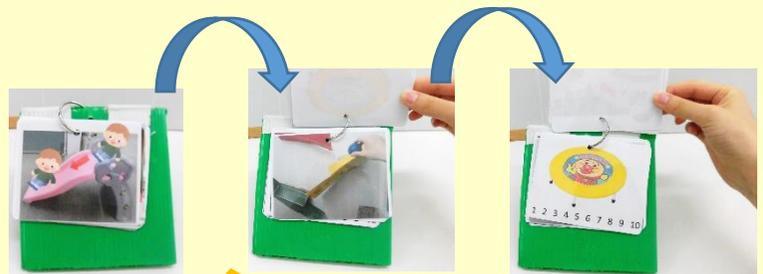


イラストだと、自分の持ち物とつながりにくい方は、実際の持ち物の写真で示すことで、理解できるようになった方もいらっしゃいます。棚の高さもお子様の目線に入りやすい高さに調整しました。お子様それぞれの理解に合った方法が大切です！

#### 余暇を過ごす工夫



トランポリンやすべり台があって楽しそうな遊びのお部屋。でもお子様によっては、どのように遊んでよいのか分からないかもしれません。



そこで、このお部屋の過ごし方を、写真やイラストで提示しました。することをひとつずつ提示し、終わったら次の写真をめくっていくことで、どのような流れで行うのか明確になります。この過ごし方を見ながら、一定時間 1 人で過ごすことができるようになりました！

## ～ご家庭での取り組み～

### 見通し



お家で療育の日の予定をカレンダーに書き、バツをつけていくことで、療育の日までの見通しを持って過ごされています。

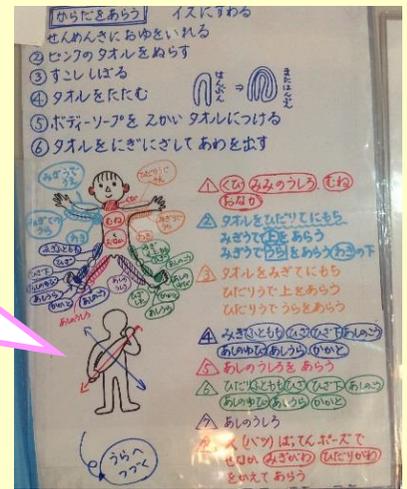
朝の流れ、幼稚園に行くまでの流れ、帰ってからの流れをイラストと文字で示し、終わったらカードをひっくり返すことで、どこまで終わったかが明確になります。活動の流れや終わりの見通しがもちやすく、素晴らしい工夫ですね！



### 身体の洗い方



身体の洗い方の手順を見ながら、体を洗う練習をされています。身体の部位を細かく分け、どこをどのくらい洗うのかを明確にしたことで、ひとりで洗うことができるようになりました。部位が色分けされており、とてもわかりやすいです☆



### お部屋の工夫



お勉強のときや、あそびのとき、集中しやすいように、ダンボールや衝立で仕切ってエリアを分ける工夫をされています。集中しやすくなるだけでなく、これを立てているときは活動に集中しています、という合図にもなります。



最後までご覧いただきありがとうございました。ご家庭で工夫される際の参考にしていただけたら幸いです。今回ご紹介した取り組みはほんの一部ですが、他にも様々な工夫や支援のアイデアをご紹介できたらと思います。次回の新聞もぜひ楽しみに！